

六甲高山植物園 麗らかな春の訪れ ～ザゼンソウが見頃を迎えました～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)が、六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、春の訪れを告げる花「ザゼンソウ」が見頃を迎えています。

陽気が差し込む園内には、妖艶な美しさを持つ春の花「ザゼンソウ」が湿地帯に広がり、春の訪れを告げます。暖かい気候が数日間続いたため、今年は開花が早く、紅色の美しい仏炎苞(ぶつえんほう)が次々と土の中から顔を出し、花を咲かせています。

◆ザゼンソウ(サトイモ科)



北海道・本州の湿地に生える高さ20cmほどの多年草です。雪が溶けると間もなく、濃い茶色の仏炎苞がむっくりと顔を出します。その姿が、ダルマ大師が座禅を組んでいるようにみえるため、「ザゼンソウ」と和名が付けられ、別名「ダルマソウ」とも呼ばれます。ミズバショウと同じ仲間、葉は花が終わるころに伸びてきます。なかなか見ることのない紅色の仏炎苞に驚く方は多く、早春の季節に人気を集めています。

当園に咲く「ザゼンソウ」は、3月末までお楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関するお問い合わせ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要(2017年)

【開園期間】3月18日(土)～11月23日(木・祝) ※9月7日(木)は休園

【開園時間】10:00～17:00(16:30 受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円 / 小人(4歳～小学生)310円 / シニア割引(65歳以上)520円